



只見高校学校長より



今年、本校は創立69周年、独立後54年目を迎えます。今年度は、教育目標「自主的精神に満ちた豊かな個性と実践力のある生徒の育成」をふまえ、生徒一人ひとりが、主体的に学び、夢の実現に挑戦し続けることができるような教育活動を進めていきたいと考えております。また、これまでと同様に、地域に根ざした学校づくり、魅力ある学校づくりを進めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年は19名の山村教育留学生を含む46名の新入生を迎え、全校生120名のスタートとなりました。入学式では、「新しい環境に新鮮さを感じながら、夢を実現させるために学習や運動に励みたい。また、様々な活動を通して心身ともに成長していきたい。」という新入生の熱い思いを聞き、生徒一人ひとりの自己実現に向けて、小規模校ならではの指導と適切な支援のあり方に真剣に向き合っていかなければならないと改めて感じたところです。また、昨年度課題と感じた人間関係形成能力の育成にも力を入れたいと考えております。具体的には、「自らの存在意義や価値を大切にし、自分に関わってくれる人を尊重し、感謝すること」、「自分と他者との心のつながりを大切にすること」を重視した指導を進めていきたいと考えているところです。

結びに、生徒減少期にあたり学校経営が厳しい状況に変わりはありませんが、「小さな学校の大きな可能性」をスローガンに、生徒一人ひとりが輝けるよう教職員一丸となって努力して参りますので、保護者や地域の方々をはじめ、本校関係者の皆様におかれましては、本校教育活動の充実と発展に向けて、今後とも変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

平成29年度入学式

4月10日(月)、平成29年度入学式が挙行されました。今年度は男子29名、女子17名、計46名の新入生を迎えました。式には只見町長をはじめ、多くのご来賓の方々にご出席をいただき、新入生の新たな出発を祝っていただきました。また、2、3年生も入学式に出席し、校歌を披露するなど、新しい仲間を歓迎しました。

「誓いの言葉」より抜粋 新入生代表 目黒 柚季

高校では、今までよりも自らの力で成し遂げなければならない物事が多くあります。時には困難に陥ることもあるかもしれませんが、そんな時は周りの友達と共に困難に立ち向かい、協力し、助け合っていきます。また、一人一人が自分の夢を実現させるため、日々、学習や運動に励み、様々な活動をとおして心身共に成長していきたいと思います。そして、本校の校訓である「真摯・明朗・健康」を守り、高校生としての自覚ある行動を心がけます。





対面式・部活動紹介



4月11日（火）に、対面式・部活動紹介が行われました。始めに生徒会長の五十嵐夏希さんから、新入生に向けて、部活動選びのアドバイスがありました。その後、生徒会紹介を始め、各部活動や愛好会から新入生獲得のためのアピールがありました。実技や寸劇を行ったり、自作の動画を上映したりと、それぞれ工夫を凝らした紹介で、新入生たちだけでなく在校生もとても楽しんでいました。

部活動紹介の後は、新入生一人ひとりが自己紹介をし、その後新入生代表の齋藤粹さんからの挨拶がありました。新入生からは、勉強と部活を両立させたいという高校生活への意気込みを聞くことができました。



新入生オリエンテーション

4月12日（水）、13日（水）には、新入生オリエンテーションが行われました。初日は、教務部と生徒指導部の先生方から、高校生としての心構えや学校生活での決まりなどの説明がありました。その後は、アイスブレイクやロールプレイを通して、生徒同士の親睦を深めました。始めは少々ぎこちなかった新入生も徐々に気持ちがほぐれ、笑顔が見られました。2日目は、進路ガイダンスとして、佐々木敦人さん（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ）から、「未来の夢の見つけ方」をテーマに未来に向けて今から考えていきたいことについて話がありました。また、進路指導部長からは、高校での進路選択についての話がありました。

これから三年間、共に成長する仲間たちとの絆を大切にしていって欲しいですね。



着任者よりごあいさつ

平成29年度は、教頭先生をはじめ5名の先生方が着任されました。教職員一同力を合わせ、只見高等学校及び只見町を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



○氏田 融（地歴・公民科）

はじめまして、4月より教頭として赴任しました氏田融と申します。前任校は会津高校です。この只見の地は21年前に白河高校の山岳部の顧問として浅草岳に登って以来となります。当時は山岳部の顧問として年に数回この奥会津の地を訪れる機会があったのですが、それはいつも6月から8月の絶好のシーズンで、只見の大自然の豊かさに只々、感動を覚えるばかりでした。でもこれからは厳しい冬の季節も含めてお世話になることとなります。猪苗代で生を受けて以来、会津→相双→いわき→県北→県南→県中→いわき→会津と県内を転々としてきましたが、ついに「奥会津」も経験させていただくことになり、県内全踏破と意気込んでいる次第です。よろしくお願いいたします。

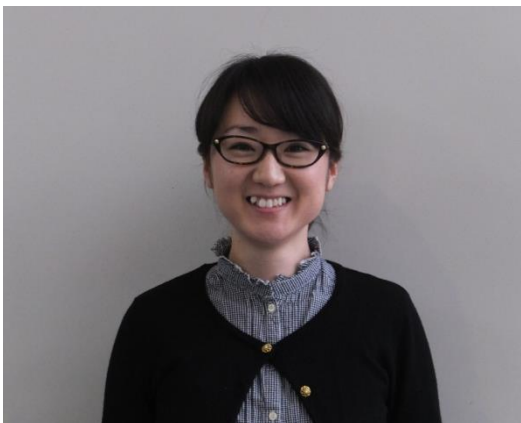
○小野塚 茂夫（英語科）

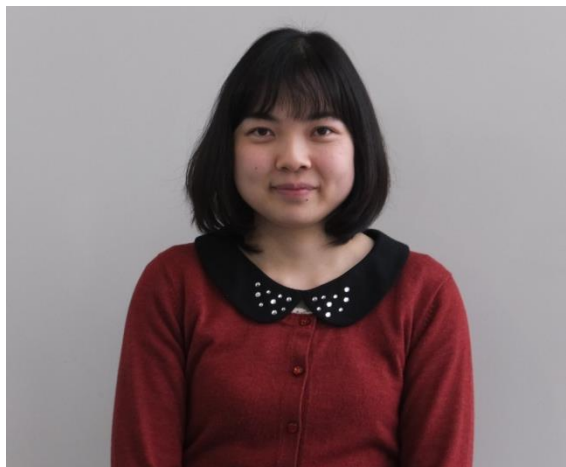
浜通りのいわき市にある湯本高校から着任しました。つい先月、さまざまな進路にむけて卒業生を送り出したところです。只見高校でもまたすぐに担任を持つことができると分かってとても楽しみです。授業では英語を、部活動ではソフトテニス部を担当します。今まで勤務したことのある3つの高校はいずれも1つの学年が280人の学校でした。本校でこれらの経験がそのまま活かせるかは定かではありませんが、本校生の学校生活が豊かになるように、また、それぞれの進路希望が実現できるように力を発揮できればと思います。私は只見町自体も会津地区での生活も初めてです。自然が美しく、伝統と文化のあるこの地域での生活を積極的に楽しもうと考えています。よろしくお願いいたします。



○三室 佳世（英語科）

こんにちは。4月から赴任いたしました三室佳世（みむろかよ）です。ここ只見町から約200キロ離れたいわき市から来ました。教科は英語、部活動は陸上部を担当します。初めて訪れた時は、雪の高い壁に圧倒されましたが、春には桜と残雪の美しい風景を見られるということで楽しみです。只見高校は、町全体の温かい心が学生たちを支えているという印象を持ちました。みなさんが、卒業後希望した道へ進めるような準備体制が十分に整ったこの環境をフルに生かしてともに勉強していきたいと思っております。毎日コツコツと学生として、そして一人の人間として自分なりに成長できるよう少しずつ日々を積み重ねていきたいと思います。よろしくお願いいたします。





○橋本 千裕 (国語科)

はじめまして。いわき市にある小名浜高校から赴任いたしました、橋本千裕と申します。担当教科は国語になります。太平洋に面している小名浜から雪深い只見に来て、改めて福島県は広く、魅力に溢れる県だと実感しているところです。授業や部活動、生徒会活動など様々な場面で生徒の皆さんと関われることを、今から楽しみにしています。また、地域の方々との交流も多いことが、この只見高校の魅力の一つだと思いました。私も早く只見での生活に慣れ、只見高校のために尽力していきたいと思います。私の好きな言葉の一つに「顔晴る」(がんばる)があります。頑なに気を張って「頑張る」のはもちろん、いつも笑顔で心がけ、「顔晴って」いきたいと思っています。宜しくお願いします。

○佐藤 研太 (学校事務)

皆様、はじめまして！4月から只見高校に赴任しました、事務の佐藤研太です！3月まで県庁内にある病院局というところで仕事をしておりました。高校の事務は初めてで不安もありますが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いします。仕事面では不安がありますが、生活面での不安は全くなく、むしろ自然首都「只見」での生活をととても楽しみにしておりました。恵みの森の散策や溪流・鮎釣り、四季折々の山の表情、雪まつりなど…、今から楽しみでいっぱいです。私の役目は、もちろん高校の事務ですが、それ以外にもこの只見の地で経験したことを外部にPRすることだと勝手に思っております。只見を堪能して、只見町を勝手にPRしていきたいと思っています、どうぞよろしくお願いします。



5月の行事予定

- 2日 (月) 振替休日
- 9日 (火) PTA雪椿総会報告会
- 12日 (金) PTA専門委員会
- 20日 (土) 学校開放
- 23日 (火) ～26 (金) 1学期中間考査
- 26日 (金) ハローワーク見学会 (3年)

